

道の駅予算財源は

坂本紀一議員

道の駅整備にかかる基本構想委託というところで予算措置をされていますが、基本的な予算財源はどのようになっていますか。

坂本建設課長

復興交付金の活用や農林漁業特別対策事業、農業振興のかかわる補助事業を組み合わせて精査し、議論しながら詰めて行きたいと考えています。

道の駅整備後の必要経費をどう考えるか

渡邊正俊議員

道の駅整備構想を発表するにあたり、整備後の継続的な費用をどのように考えていますか。

遠藤町長

新たな組織を念頭に置きながら運営の体制を図って3年軸というなかで計画を進め、着手して行きたいと考えています。

障がい者自立支援給付費の計上理由は

門馬まりえ議員

自立支援給付費の補正計上は、障がい者の方の人数が増えたのか、それとも避難にともない、施設を利用する機会が増えたということですか。

鈴木福祉介護課長

障がい者の方の認定数が伸びたということではありません。避難にともない以前より施設利用が増えたことと自己負担がないことが原因ととらえています。

税番号制度のメリットは

畑中太子議員

税番号制度に変わるることによって町側はどのようなメリットがあつて、町民にはどんなメリットがあるのでしょうか。

遠藤税務課長

メリットは全ての税目について個人や法人が特定できることです。例えば個人で町外の方ですと住所移転がされてもこちらに届出がないとわからないのですが、税番号制度が導入されればそういう情報をデータで取得することが大変楽になります。



防災拠点 道の駅ひろの（仮称）事業が予定される折木地内

事業の名称

「防災拠点 道の駅ひろの」整備事業

事業の目的

町の「復興」のシンボリックな位置づけとして、東日本大震災の被災経験を活かした広域的な防災の拠点、町内外生活者の地域コミュニティ交流施設の拠点など、様々な機能を兼ね備えた新しい「防災拠点 道の駅ひろの」の整備する事業です。

整備事業費

2 1 4 0 万円（基本構想委託）

事業箇所

一般国道 6 号線 広野町大字折木地内

事業の概要

防災機能施設（防災広場 ヘリポート）
情報提供施設
物流・地域振興施設
交流施設
駐車場・トイレなど

事業の期間

平成26年度～平成29年度（予定）